

令和3年度第2回 豊能町立図書館協議会 会議報告

1	会議の名称	令和3年度第2回 豊能町立図書館協議会
2	開催日時	令和3年11月25日(木) 10時00分～11時45分
3	開催場所	豊能町立図書館 集会室
4	事務局	生涯学習課 図書館
5	出席者	委員 石塚 謙二委員 金井 理枝子委員 田中 未知委員 西村 はるみ委員 張 裕太郎委員 藪田 昇太郎委員 (欠席委員なし)
	事務局	図書館長 藤木 裕美 図書館主任 泉 尋
6	会議の次第	1. 会長挨拶 2. 議題 1) 豊能町の現状とこれからの図書館運営について 2) 箕面市との公立図書館相互利用について 3) その他報告 ・空調更新工事について ・バリアフリーサービスについて 3. 連絡事項
7	審議等の要点	別紙のとおり

令和3年度第2回 豊能町立図書館協議会 要点
(令和3年11月25日(木)開催)

開 会 (会長挨拶)

議 事

①豊能町の現状とこれからの図書館運営について

- 1) 町の現状
- 2) 公共施設再編検討について

事務局 (事務局より説明)

町の財政状況が悪化しており、毎年度財政調整基金を取り崩している状況である。このままでは基金が底をつき、町運営が立ち行かなくなる。抜本的な対策として公共施設の再編の検討を昨年度より行っているが、結論が出るまでには時間が掛かる。当面の財政状況を鑑み、来年度の予算編成でも削減が求められている。

公共施設再編PT及び委員会では、一部の例外を除きすべての公共施設が俎上に挙がっている。図書館も例外ではない。

委 員 以前、西地区の学校統合に際して周辺の公共施設を集約して一体化するという案があったと思う。図書館もその中に入っていたと思うが、どうなったのか？

事務局 それは前町長の時の案であった。現町長が就任されてから方針が一変し、学校統合以外の公共施設に関してはゼロから見直すこととなった。図書館を含む周辺施設の集約化もなくなっている。

委 員 公共施設再編の資料「機能面についての整理～図書館(社会教育系施設)～」中の課題として挙げられている「施設・設備と図書館利用目的の齟齬」とはどういう意味か？

事務局 図書館は開館から30年以上経過し、その時から建物の根本的な作りは変わっていない。開館当初にはなかったニーズに施設の作りが対応できていない。例えばバリアフリーの対応として個室としての対面朗読室の設置や各種講座やイベントを行うような大きい会議室、十分な閉架書庫等が備えられていない等である。

委 員 話は少しそれるが、学校図書館はどうなっているのか？生徒児童の調べ学習に耐えうるような資料購入は出来ているのか？

委 員 学校図書館も経費削減が求められている。財団法人などの補助金を利用しているがそれでも足りていない。授業や子どもたちのニーズに合う図書まで購入できていない。そこは公立図書館に支援してもらっている。

委 員 学校支援として国立国会図書館や府立図書館の図書の活用は行っているか？

事務局 学校支援目的としては国立国会図書館からは取り寄せは行っていないが、大阪府立図書館には学校支援用の特別貸し出しセットというメニューがある。当館を經由して東ときわ台小学校の調べ学習に活用した。

委員 時代の変遷により多様な情報が溢れ・多様な活動が行われている。図書館が付いていけないがすぐには建て替えも出来ない。現状のままどうフレキシブルに活用するか。小さいお金で出来ること。小さい町に合った図書館のかたちを提言すべきかと思うが、どういったものが望ましいのか今この場ではすぐに浮かばないが…。

議 事

3) 次年度以降の図書館運営について

事務局 次年度（令和4年度）の予算編成にあたっては、複数年度契約などで支払額が確定しているものを除き、今年度の経費の90%に収めるように財政部局より指示がなされている。図書館の削減対象経費は、約730万円。ここには資料購入費約580万円が含まれる。ここから10%削減しようとする資料費も削減せざるを得ない。しかし、20年前には1,200万円以上あった資料費が削減されて500万円となっている。現状でも十分な資料の更新が出来ていない現状であり、これ以上削減は出来ないと考えている。

財政部局から求められている以上は削減を行う必要があるため、事務局としては臨時休館日を設定し、人件費や光熱水料費で削減額を補てんしたいと考えている。しかし、他方で休館せずに図書費を削減したほうが良いという意見もあると思う。協議会委員のご意見を頂きたい。

委員 どのくらいの削減を求められていて、休館日を増やすとどのくらい削減できるのか？

事務局 削減額は約74万円。ただし、厳しい財政状況を考えると単年度で終わるものではないと考えている。現状の週6日開館を週5日開館にすると年間で約220万円削減できる。

委員 個人的な思いでは、新たに休館日設けるのは反対したいところだが、これ以上図書費が減るのも問題である。

委員 削減額を考えると毎週休館日を設定する必要はないと思う。月に何回とかの設定でも良いのではないか。開館日は維持して時間短縮をするというのはどうか？

事務局 会計年度任用職員は時間ごとの勤務のため、人件費は削減出来るが光熱水料費は削減できない。誰も勤務しない日をつくることで経費削減となる。

委員 休館日の設定はやむを得ないと思う。最低限の日数で留めてほしい。また、週何日・月に何日という休みよりも、年末年始などの長期休みに合わせて休みを増やす方が利用者

受け入れられやすいのではないか。

委員 予算重点方針では、子育て施策を含む転入促進事業には重点配分するとある。子育て向けの本を増やすだけではいけない。何かイベントを行っているか？

事務局 コロナ過ではあるがおはなし会は継続して実施している。また、子供向け映画会も再開している。コロナ前には積極的各種イベントを実施していた。今後、状況を見ながら再下賜していきたい。また、休館明けから、絵本のセット貸出を実施する。これは、たくさんの絵本の中から、どの本を選べばよいのか悩んでいるという利用者の声にこたえて実施するものである。

議 事

②箕面市との公立図書館相互利用について

事務局 (事務局より説明)

4月1日から試行として箕面市との相互利用を開始した。箕面市民の利用は増えている。特に大きなトラブルは無い。このまま問題なければ、箕面市との協議の上本格実施を開始することとなる。

③その他(報告)

事務局 (事務局より説明)

現在休館を行い実施している空調更新工事はおおむね順調に進んでいる。休館期間が延びることは無い。

8月から開始したバリアフリーサービスは、すでに1名の方が登録され利用されている。また、広報11月号で特集を行い周知している。休館前には児童向け大活字本についての問い合わせもあった。